

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL http://www.muto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,889	10.1	1,151	247.8	1,127	124.8	895	121.3
29年3月期第3四半期	18,071	3.3	330	—	501	—	404	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,282百万円(194.8%) 29年3月期第3四半期 434百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	124.63	—
29年3月期第3四半期	56.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	24,926	12,669	47.8
29年3月期	23,305	11,387	46.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,914百万円 29年3月期 10,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,600	6.4	1,300	134.9	1,200	78.4	1,000	246.5	139.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	7,739,548株	29年3月期	7,739,548株
30年3月期3Q	552,784株	29年3月期	552,649株
30年3月期3Q	7,186,844株	29年3月期3Q	7,186,899株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策の継続を背景とした輸出の増加や堅調な設備投資等により、緩やかな回復基調で推移いたしました。

世界経済におきましては、欧米、中国および新興国の景気は引き続き堅調に推移いたしました。米国の経済政策運営や朝鮮半島、中東情勢などの不安定要素もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界において、自動車関連では、欧米や中国の新車販売が減速基調にありましたが、国内では軽自動車販売に持ち直しが見られ、SUVなどの新車販売は増加傾向にあります。白物・小物家電市場においては、東南アジアの需要が堅調に拡大した一方、国内では買い替え時期を迎えたエアコンや冷蔵庫、薄型テレビの販売が好調に推移いたしました。ヘルスケア機器関連においては、生活水準の向上による健康志向の高まりや生活習慣病の増加に伴う医療ニーズを背景に、新興国において需要が高まっており、市場は堅調に拡大を続けております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、主要セグメントでありますプラスチック成形事業が売上を伸ばし、主力製品の自動車関連部品をはじめ、電子ペンやヘルスケア機器などが順調に受注を確保しております。また、自動車関連部品を中心にグローバルな事業拡大を進めるとともに、電子ペンをはじめとした付加価値の高い製品の生産体制の強化に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は198億8千9百万円と前年同四半期と比べ18億1千7百万円(10.1%)の増収、営業利益は11億5千1百万円と前年同四半期と比べ8億2千万円(247.8%)の増益、経常利益は11億2千7百万円と前年同四半期と比べ6億2千6百万円(124.8%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億9千5百万円と前年同四半期と比べ4億9千1百万円(121.3%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、前連結会計年度に引き続き主力製品のエアコンパネルやECUなどの自動車向け部品、スマートフォン新型モデル向けをはじめとした電子ペンの売上が増加を続けております。加えて、海外拠点のムトーベトナムCO.,LTD.の血圧計及びミラーレスカメラや一眼カメラ、デジタルカメラ部品、豊武光電(蘇州)有限公司のカメラ関連部品が順調に売上を伸ばしております。また、中国・東南アジアにおけるプリンター業界の回復基調に伴い、レーザープリンターやインクジェットプリンター部品の売上也増加傾向にあります。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて180億8千4百万円と前年同四半期と比べ17億4千2百万円(10.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は11億2千9百万円と前年同四半期と比べ8億5百万円(249.1%)の増益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、総体的な市場の縮小により、デジタルカメラやカーオーディオなどの精密部品は新規案件が減少傾向にあり、厳しい価格競争が続いております。しかしながら、電子ペン、医療機器関係部品の売上は順調に推移いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて16億6千4百万円と前年同四半期と比べ4千1百万円(2.6%)の増収となりましたが、セグメント損失(営業損失)は2百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)0百万円)となっております。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門は、パッケージ基板や複写機などの設計業務の売上が大きく増加いたしました。検査部門においては、電波時計に使用される基板などの受注が大きく減少いたしました。セラミック基板や工作機など産業機器の基板の検査業務が大幅に増加しております。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億1千1百万円と前年同四半期と比べ9百万円(4.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は2千4百万円と前年同四半期と比べ1千6百万円(231.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ16億2千1百万円増加し、166億6千8百万円となりました。現金及び預金が6億2千1百万円、受取手形及び売掛金が3億8千3百万円、商品及び製品が4億3千4百万円、原材料及び貯蔵品が1億5千4百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、82億5千8百万円となりました。投資その他の資産が2千4百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ16億2千1百万円増加し、249億2千6百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ8億4千5百万円減少し、82億7千2百万円となりました。短期借入金が15億9千5百万円減少し、支払手形及び買掛金が4億6千9百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億5千5百万円、その他(流動負債)が1億9千7百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ11億8千4百万円増加し、39億8千4百万円となりました。長期借入金が11億3千4百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ3億3千8百万円増加し、122億5千7百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12億8千2百万円増加し、126億6千9百万円となりました。利益剰余金が8億9千5百万円、為替換算調整勘定が3億2千万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、平成29年11月10日に公表いたしました「平成30年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,852,024	6,473,058
受取手形及び売掛金	4,727,359	5,111,143
電子記録債権	614,589	711,041
商品及び製品	772,580	1,207,314
仕掛品	897,780	842,765
原材料及び貯蔵品	1,537,700	1,692,460
未収入金	215,862	189,980
繰延税金資産	3,638	5,776
その他	426,644	435,956
貸倒引当金	△1,240	△1,240
流動資産合計	15,046,939	16,668,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,995,653	2,030,508
機械装置及び運搬具(純額)	3,376,361	3,330,789
土地	1,077,670	1,169,896
建設仮勘定	53,913	124,365
その他(純額)	931,661	815,091
有形固定資産合計	7,435,260	7,470,651
無形固定資産	263,514	252,164
投資その他の資産		
投資有価証券	281,727	267,049
退職給付に係る資産	109,243	138,192
その他	171,772	133,160
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	559,857	535,516
固定資産合計	8,258,632	8,258,333
資産合計	23,305,572	24,926,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,647,324	3,116,590
短期借入金	4,345,940	2,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,102,179	1,257,388
未払法人税等	104,833	92,294
賞与引当金	187,908	128,655
繰延税金負債	4,212	4,739
その他	725,649	923,135
流動負債合計	9,118,047	8,272,803
固定負債		
長期借入金	2,194,760	3,328,879
繰延税金負債	263,365	295,292
役員退職慰労引当金	127,941	137,383
退職給付に係る負債	205,065	216,161
その他	8,986	6,515
固定負債合計	2,800,118	3,984,232
負債合計	11,918,166	12,257,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,096	2,246,096
利益剰余金	7,187,414	8,083,109
自己株式	△397,733	△397,883
株主資本合計	11,224,736	12,120,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,030	42,275
為替換算調整勘定	△568,046	△247,667
その他の包括利益累計額合計	△510,015	△205,391
非支配株主持分	672,685	754,662
純資産合計	11,387,406	12,669,552
負債純資産合計	23,305,572	24,926,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	18,071,675	19,889,189
売上原価	15,548,098	16,532,563
売上総利益	2,523,577	3,356,625
販売費及び一般管理費	2,192,603	2,205,562
営業利益	330,973	1,151,062
営業外収益		
受取利息	18,961	43,375
受取配当金	7,366	5,361
為替差益	159,036	—
その他	41,233	19,489
営業外収益合計	226,597	68,226
営業外費用		
支払利息	54,967	53,594
為替差損	—	37,708
その他	836	170
営業外費用合計	55,804	91,473
経常利益	501,767	1,127,815
特別利益		
固定資産売却益	4,448	9,865
特別利益合計	4,448	9,865
特別損失		
固定資産売却損	—	35
固定資産除却損	7,568	4,693
特別損失合計	7,568	4,729
税金等調整前四半期純利益	498,647	1,132,951
法人税等	103,946	198,068
四半期純利益	394,701	934,882
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,981	39,188
親会社株主に帰属する四半期純利益	404,682	895,694

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	394,701	934,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,644	△15,755
為替換算調整勘定	△30,383	363,168
その他の包括利益合計	40,261	347,413
四半期包括利益	434,962	1,282,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450,504	1,200,318
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,542	81,977

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,325,667	1,551,554	194,453	18,071,675	—	18,071,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,486	70,751	7,245	94,483	△94,483	—
計	16,342,153	1,622,306	201,698	18,166,158	△94,483	18,071,675
セグメント利益	323,510	163	7,299	330,973	—	330,973

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,072,869	1,611,599	204,719	19,889,189	—	19,889,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,332	52,448	6,280	70,061	△70,061	—
計	18,084,202	1,664,047	211,000	19,959,250	△70,061	19,889,189
セグメント利益又は損失(△)	1,129,481	△2,640	24,222	1,151,062	—	1,151,062

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。